



雪印メグミルク



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月13日

上場会社名 雪印メグミルク株式会社 上場取引所 東 札
 コード番号 2270 URL <https://www.meg-snow.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 啓治
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 渡邊 健太郎 TEL 03-3226-2124
 定時株主総会開催予定日 2021年6月23日 配当支払開始予定日 2021年6月3日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	615,186	0.3	19,780	9.9	21,662	10.1	14,913	22.6
2020年3月期	613,405	1.7	17,998	4.5	19,680	3.5	12,165	13.1

(注) 包括利益 2021年3月期 23,265百万円 (89.6%) 2020年3月期 12,271百万円 (△14.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	220.64	—	8.1	5.6	3.2
2020年3月期	179.71	—	7.1	5.4	2.9

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 1,233百万円 2020年3月期 1,085百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	398,650	198,255	49.0	2,890.65
2020年3月期	370,434	178,094	47.3	2,586.86

(参考) 自己資本 2021年3月期 195,213百万円 2020年3月期 175,112百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	26,567	△27,076	6,771	21,829
2020年3月期	24,322	△16,629	△6,651	15,524

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	—	—	40.00	40.00	2,707	22.3	1.6
2021年3月期	—	—	—	40.00	40.00	2,707	18.1	1.5
2022年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00		27.0	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	288,000	—	10,800	△2.6	11,400	△4.8	6,800	△5.5	100.69
通期	570,000	—	20,500	3.6	21,500	△0.8	12,500	△16.2	185.10

2022年3月期の売上高は「収益認識に関する会計基準」を適用し当該基準に基づいた予想となっております。

このため、当該基準適用前の2021年3月期の実績値に対する増減率は記載しておりません。

2021年3月期と同様の基準で算出した2022年3月期の売上高予想および増減率は以下の通りとなります。

第2四半期(累計) 318,000百万円(+1.3%) 通期 629,500百万円(+2.3%)

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	70,751,855株	2020年3月期	70,751,855株
② 期末自己株式数	2021年3月期	3,219,054株	2020年3月期	3,058,747株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	67,594,981株	2020年3月期	67,697,550株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

決算補足説明資料は決算短信に添付しております。

当社は、2021年5月13日（木）にアナリスト、機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算説明会資料については、同日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 今後の見通し	5
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(表示方法の変更)	15
(セグメント情報)	16
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

(補足説明資料)

2021年3月期 決算短信 補足説明資料

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期のわが国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、業種により差はあるものの、総じて厳しい環境下で推移しました。一時は持ち直しの動きがみられたものの、直近では感染再拡大の動きが強まっており、先行きは不透明な状況が続いております。

食品業界においては、緊急事態宣言による外出自粛要請や飲食店の短縮営業が実施されたことにより、内食需要が増加した一方、外食需要が大きく落ち込みました。国の経済対策により、外食産業の業績も一時は回復の動きがみられましたが、再び先行きが見通せない状況となっております。

このような環境下、当社グループは「グループ中期経営計画 2022」に基づき、「4つの事業分野（乳製品事業分野、市乳事業分野、ニュートリション事業分野、飼料・種苗事業分野）における収益基盤の確立」に向けた取り組みを進めました。

この中では、機能性を軸としたヨーグルトおよびチーズなどの主力商品の戦略的拡大とプロダクトミックスの更なる改善、ニュートリション事業分野におけるマーケティング投資の継続による規模拡大と収益獲得の両立、種苗事業における戦略的拡大と収益基盤の整備、ならびにグループ経営資源の活用拡大やバリューチェーンの生産性向上によるグループ総合力の強化等に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、従業員の感染予防に取り組むとともに、お客様へ安全で安心して頂ける商品の安定供給に努めました。

その他、学校給食の休止や外食需要の減退により牛乳乳製品の需要が大幅に減少する局面では、生乳廃棄回避に向けバター、脱脂粉乳の増産等生乳処理に取り組み、需給調整の機能を果たしました。

以上の結果、当連結会計年度の連結経営成績につきましては、売上高615,186百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益19,780百万円（前年同期比9.9%増）、経常利益21,662百万円（前年同期比10.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、14,913百万円（前年同期比22.6%増）となりました。

なお、2021年3月末では、子会社32社および関連会社14社となっております。

セグメントごとの当連結会計年度の業績は次のとおりです。なお、セグメントごとの売上高につきましては外部顧客に対する金額を記載しております。

①乳製品

当セグメントには、乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂、ニュートリション事業（機能性食品、粉ミルク等）等の製造・販売が含まれております。

売上高は262,337百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は13,675百万円（前年同期比18.3%増）となりました。

売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大により、内食需要の高まりが家庭用に追い風となる一方、業務用は、外食需要の落ち込みにより逆風となるなど、販売チャネルによって異なる影響を受けました。

このような中、バターは安定供給に引き続き努めたことから前年並みに推移しました。油脂は積極的なプロモーション活動を展開したものの、前年度2月末頃より始まった内食需要の急激な増加が今年度は落ち着いたため減収となりました。チーズは家庭内でのおつまみ需要の増加や、さけるチーズなどのナチュラルチーズが好調に推移したことなどから微増収となりました。機能性食品はコロナ禍で好調なECビジネスにおいて、マーケティング投資を継続したことにより伸長しました。

これらの結果、当セグメント全体では増収となりました。

営業利益は、家庭用商品における販売物量の増加、固定経費の減少などから増益となりました。

②飲料・デザート類

当セグメントには、飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザートの製造・販売が含まれております。

売上高は274,487百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益は4,143百万円（前年同期比20.8%減）となりました。

売上高は、飲料は、新型コロナウイルス感染症の影響により、内食需要は堅調に推移したものの、外出機会減少に伴いコンビニエンスストア等での販売が減少したことにより、白物飲料、色物飲料ともに減収となりました。ヨーグルトは、機能訴求型商品の「ガセリ菌SP株」「乳酸菌ヘルベ」それぞれの価値訴求強化に向けた、プロモーション活動を展開し拡大を図りましたが、市場における機能性表示商品のバリエーション化などにより減収となりました。デザートは新商品の発売等、商品力の強化に取り組み、内食需要の高まりもあり好調に推移しました。

これらの結果、当セグメント全体では減収となりました。

営業利益は、宣伝促進費の効率的な運用に取り組んだ効果はあったものの、新型コロナウイルス感染症による消費動向の変化の影響などを受け販売物量が減少したこと、オペレーションコストが増加したことなどから減益となりました。

③飼料・種苗

当セグメントには、牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子の製造・販売、造園事業が含まれております。
 売上高は43,349百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は1,123百万円（前年同期比8.4%増）となりました。
 売上高は、牧草・飼料作物種子および飼料の販売物量減少や造園事業の減少などにより当セグメント全体で減収となった一方で、営業利益は、固定経費などの減少により増益となりました。

④その他

当セグメントには、共同配送センター事業、不動産賃貸事業等が含まれております。
 売上高は35,012百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益は1,056百万円（前年同期比519.6%増）となりました。
 営業利益は、前年度に子会社である株式会社エスアイシステムで発生した商品倉庫の火災に起因する費用が、当年度は発生していないことにより大幅な増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当連結会計年度末の総資産は前連結会計年度末と比較して28,216百万円の増加となりました。
 これは主に、建物及び構築物や機械装置及び運搬具、投資有価証券が増加したことなどによります。

(負債の部)

当連結会計年度末の負債合計は前連結会計年度末と比較して8,055百万円の増加となりました。
 これは主に、未払金が減少した一方で、資金調達を行ったことによる借入金が増加したことなどによります。

(純資産の部)

当連結会計年度末の純資産合計は前連結会計年度末と比較して20,160百万円の増加となりました。
 これは主に、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物は、21,829百万円となりました。
 当連結会計年度における活動毎のキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度 (2019.4.1～ 2020.3.31)	当連結会計年度 (2020.4.1～ 2021.3.31)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,322	26,567	2,245
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,629	△27,076	△10,447
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,651	6,771	13,422
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	42	32
現金及び現金同等物の増加額（△は減少額）	1,052	6,305	5,252
現金及び現金同等物の期首残高	14,303	15,524	1,220
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	168	—	△168
現金及び現金同等物の期末残高	15,524	21,829	6,305

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、26,567百万円の収入（前連結会計年度は24,322百万円の収入）となりました。

前連結会計年度との比較では、主に売上債権の増減額や法人税等の支払額が増加したものの、税金等調整前当期純利益や仕入債務の増減額が増加したことなどにより、2,245百万円の収入増となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、27,076百万円の支出（前連結会計年度は16,629百万円の支出）となりました。

前連結会計年度との比較では、主に有形及び無形固定資産の売却による収入が増加したものの、有形及び無形固定資産の取得による支出が増加したことなどにより、10,447百万円の支出増となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、6,771百万円の収入（前連結会計年度は6,651百万円の支出）となりました。

前連結会計年度との比較では、主に長期借入れによる収入の増加や長期借入金の返済による支出の減少などにより、13,422百万円の収入増となりました。

当社グループのキャッシュ・フロー関連指標の推移は下記のとおりであります。

決算年月	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	46.3	47.3	49.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	50.7	44.9	38.1
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率 (年)	3.3	2.9	3.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	49.3	62.6	67.5

※自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利息の支払額

- (注) 1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
 2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
 3. キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている負債を対象としております。

(3) 今後の見通し

今後のわが国経済の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていく中で、緩やかな景気の回復基調が続くことが期待されるものの、感染症の収束の時期を見通すことは非常に難しく、不透明な状況が続くことが見込まれます。

食品業界においては、内食需要は安定して推移することが見込まれるものの、外食需要の回復見込みは不透明であり、全体的には引き続き厳しい状況が続くことが予想されます。

当社においては、原材料価格、労務費、物流費等の様々なコスト増加や新型コロナウイルス感染症の影響により外食産業向けの需要低迷が長期化するリスクがあります。

一方では、“新しい生活様式”により自宅で過ごす時間が増える中、多様で価値ある商品の提供や食シーンの提案などにより、新たな需要の増加も見込まれます。

このような状況において、当社は「グループ中期経営計画2022」に基づき、「生産性改革の推進」、「事業構造改革の断行」、「生産体制進化の本格始動」の3つを戦略の柱と位置づけ、最終年度の2022年度に「4つの事業分野における収益基盤の確立」を実現するべく取り組んでまいります。

以上により、2022年3月期の連結業績見通しは、売上高570,000百万円、営業利益20,500百万円（前年同期比3.6%増）、経常利益21,500百万円（前年同期比0.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益12,500百万円（前年同期比16.2%減）としております。

なお、2022年3月期の売上高は「収益認識に関する会計基準」を適用し当該基準に基づいた予想となっております。このため、当該基準適用前の2021年3月期の実績値に対する増減率は記載しておりません。

2021年3月期と同様の基準(以下、旧基準)で算出した2022年3月期の売上高予想および増減率は、売上高629,500百万円(旧基準による前年同期比2.3%増)となります。

また、セグメントごとの通期売上見通しは、乳製品240,000百万円(旧基準による前年同期比1.8%増)、飲料・デザート類254,000百万円(旧基準による前年同期比2.7%増)、飼料・種苗41,000百万円(旧基準による前年同期比0.4%減)、その他35,000百万円(旧基準による前年同期比6.7%増)としております。なお、上記セグメントごとの通期売上見通しは、外部顧客に対する金額を記載しております。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、利益創出による財務の健全性の確立、キャッシュを創出する基盤インフラへの再投資による資本効率の維持、ならびに株主への利益還元の実現を図っていくことを利益配分の基本方針としております。

配当につきましては、連結配当性向20～30%を目処に、連結業績や財務状況等を総合的に勘案して、安定的な配当の継続に努めてまいります。

2021年3月期につきましては、上記の配当に関する方針に基づき、当初の予定どおり1株当たり40円といたしました。

なお、剰余金配当の支払開始日は2021年6月3日となります。

また、次期の剰余金の配当につきましては、上記の基本方針を踏まえ、売上・利益予想ならびに財務状況見直し等を勘案し、1株当たり50円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,536	21,840
受取手形及び売掛金	71,880	71,710
商品及び製品	42,998	43,881
仕掛品	1,044	1,114
原材料及び貯蔵品	14,954	14,931
未収入金	3,505	6,957
その他	1,678	1,657
貸倒引当金	△410	△377
流動資産合計	151,187	161,716
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	102,964	114,341
減価償却累計額	△55,435	△57,483
減損損失累計額	△1,031	△1,310
建物及び構築物 (純額)	46,497	55,547
機械装置及び運搬具	193,982	205,099
減価償却累計額	△136,860	△141,558
減損損失累計額	△2,985	△3,106
機械装置及び運搬具 (純額)	54,136	60,434
工具、器具及び備品	18,562	19,573
減価償却累計額	△14,480	△15,031
減損損失累計額	△168	△232
工具、器具及び備品 (純額)	3,914	4,309
土地	49,910	47,774
リース資産	8,948	8,613
減価償却累計額	△3,807	△4,132
減損損失累計額	△222	△250
リース資産 (純額)	4,917	4,230
建設仮勘定	11,654	4,981
有形固定資産合計	171,031	177,277
無形固定資産		
リース資産	253	184
ソフトウェア	1,854	1,859
施設利用権	658	608
のれん	719	645
その他	241	215
無形固定資産合計	3,727	3,512
投資その他の資産		
投資有価証券	34,807	44,517
長期前払費用	364	277
退職給付に係る資産	2,246	4,024
繰延税金資産	3,006	3,092
その他	4,317	4,466
貸倒引当金	△255	△234
投資その他の資産合計	44,487	56,143
固定資産合計	219,246	236,933
資産合計	370,434	398,650

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,354	55,002
電子記録債務	5,436	4,784
短期借入金	16,514	16,409
1年内返済予定の長期借入金	1,626	15,623
リース債務	910	793
未払金	19,843	12,334
未払法人税等	3,740	3,521
未払費用	7,752	8,019
預り金	561	633
賞与引当金	5,212	5,293
その他	3,366	6,144
流動負債合計	120,319	128,558
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	35,129	32,046
長期預り金	4,997	5,018
リース債務	5,212	4,502
繰延税金負債	858	5,149
再評価に係る繰延税金負債	3,959	3,815
役員退職慰労引当金	20	20
ギフト券引換引当金	79	68
退職給付に係る負債	10,017	9,570
資産除去債務	1,298	1,331
その他	446	312
固定負債合計	72,019	71,835
負債合計	192,339	200,394
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	17,606	17,607
利益剰余金	125,489	137,941
自己株式	△4,961	△5,355
株主資本合計	158,134	170,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,747	16,952
繰延ヘッジ損益	△88	△3
土地再評価差額金	8,815	8,570
為替換算調整勘定	△142	△48
退職給付に係る調整累計額	△2,354	△449
その他の包括利益累計額合計	16,977	25,020
非支配株主持分	2,982	3,042
純資産合計	178,094	198,255
負債純資産合計	370,434	398,650

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	613,405	615,186
売上原価	470,209	472,574
売上総利益	143,196	142,612
販売費及び一般管理費		
販売費	106,174	104,499
一般管理費	19,022	18,331
販売費及び一般管理費合計	125,197	122,831
営業利益	17,998	19,780
営業外収益		
受取利息	9	7
受取配当金	748	737
持分法による投資利益	1,085	1,233
その他	978	1,045
営業外収益合計	2,821	3,024
営業外費用		
支払利息	346	410
支払補償費	46	166
その他	746	565
営業外費用合計	1,140	1,142
経常利益	19,680	21,662
特別利益		
固定資産売却益	13	2,678
投資有価証券売却益	94	18
その他	—	455
特別利益合計	107	3,152
特別損失		
固定資産売却損	2	477
固定資産除却損	1,707	1,486
減損損失	576	1,282
火災損失	550	63
その他	66	349
特別損失合計	2,903	3,659
税金等調整前当期純利益	16,885	21,156
法人税、住民税及び事業税	5,057	5,589
法人税等調整額	△464	588
法人税等合計	4,593	6,177
当期純利益	12,291	14,978
非支配株主に帰属する当期純利益	126	64
親会社株主に帰属する当期純利益	12,165	14,913

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	12,291	14,978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	135	6,084
繰延ヘッジ損益	65	84
為替換算調整勘定	32	80
退職給付に係る調整額	△405	1,869
持分法適用会社に対する持分相当額	150	167
その他の包括利益合計	△20	8,286
包括利益	12,271	23,265
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	12,146	23,202
非支配株主に係る包括利益	124	62

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	20,000	17,586	116,474	△4,942	149,117
当期変動額					
剰余金の配当			△2,708		△2,708
親会社株主に帰属する当期純利益			12,165		12,165
自己株式の取得				△19	△19
自己株式の処分		0		0	0
連結範囲の変動		20	△442		△422
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	20	9,014	△18	9,017
当期末残高	20,000	17,606	125,489	△4,961	158,134

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	10,471	△154	8,818	8	△1,966	17,177	2,487	168,782
当期変動額								
剰余金の配当								△2,708
親会社株主に帰属する当期純利益								12,165
自己株式の取得								△19
自己株式の処分								0
連結範囲の変動								△422
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	276	65	△2	△150	△388	△200	495	294
当期変動額合計	276	65	△2	△150	△388	△200	495	9,311
当期末残高	10,747	△88	8,815	△142	△2,354	16,977	2,982	178,094

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	20,000	17,606	125,489	△4,961	158,134
当期変動額					
剰余金の配当			△2,707		△2,707
親会社株主に帰属する当期純利益			14,913		14,913
自己株式の取得				△394	△394
自己株式の処分		0		0	0
土地再評価差額金の取崩			245		245
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	0	12,451	△394	12,057
当期末残高	20,000	17,607	137,941	△5,355	170,192

	その他の包括利益累計額						非支配株主 持分	純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算調 整勘定	退職給付に係 る調整累計額	その他の包 括利益累計 額合計		
当期首残高	10,747	△88	8,815	△142	△2,354	16,977	2,982	178,094
当期変動額								
剰余金の配当								△2,707
親会社株主に帰属する当期純利益								14,913
自己株式の取得								△394
自己株式の処分								0
土地再評価差額金の取崩								245
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	6,204	84	△245	93	1,905	8,043	59	8,103
当期変動額合計	6,204	84	△245	93	1,905	8,043	59	20,160
当期末残高	16,952	△3	8,570	△48	△449	25,020	3,042	198,255

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	16,885	21,156
減価償却費	16,157	15,917
減損損失	576	1,282
持分法による投資損益(△は益)	△1,085	△1,233
のれん償却額	92	89
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△86	△53
賞与引当金の増減額(△は減少)	221	80
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△341	△582
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	249	1,062
ギフト券引換引当金の増減額(△は減少)	△9	△10
固定資産除売却損益(△は益)	1,704	△714
受取利息及び受取配当金	△758	△745
支払利息	346	410
売上債権の増減額(△は増加)	3,271	△137
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,864	△939
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,422	△231
その他	△4,024	△3,693
小計	26,911	31,656
利息及び配当金の受取額	1,039	1,101
利息の支払額	△388	△393
法人税等の支払額	△3,239	△5,796
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,322	26,567
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△10
定期預金の払戻による収入	50	12
貸付けによる支出	△66	△295
貸付金の回収による収入	44	159
有形及び無形固定資産の取得による支出	△16,705	△31,122
有形及び無形固定資産の売却による収入	100	4,171
投資有価証券の取得による支出	△109	△17
投資有価証券の売却による収入	123	67
その他	△67	△40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,629	△27,076

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△523	△105
長期借入れによる収入	920	12,540
長期借入金の返済による支出	△3,226	△1,626
自己株式の取得による支出	△19	△394
配当金の支払額	△2,708	△2,705
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
その他	△1,091	△933
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,651	6,771
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	42
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,052	6,305
現金及び現金同等物の期首残高	14,303	15,524
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	168	—
現金及び現金同等物の期末残高	15,524	21,829

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、「営業外費用」の「その他」に含めて表示しておりました「支払補償費」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外費用」の「その他」793百万円は、「支払補償費」46百万円、「その他」746百万円として組み替えております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行なう対象となっているものであります。

当社グループは、主たる事業として、乳（ミルク）等を使用した製品の製造・販売および牛用飼料、牧草・飼料作物種子等の製造・販売を行なっており、チーズ・バター等の「乳製品」および牛乳・ヨーグルト等の「飲料・デザート類」については主に当社が、「飼料・種苗」については主に雪印種苗(株)が行なっております。

したがって、当社グループは、製品別のセグメントから構成されており、「乳製品」、「飲料・デザート類」および「飼料・種苗」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	249,098	283,923	43,703	576,725	36,680	613,405	—	613,405
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,325	111	927	13,364	12,803	26,167	△26,167	—
計	261,424	284,034	44,631	590,090	49,483	639,573	△26,167	613,405
セグメント利益	11,557	5,229	1,036	17,823	170	17,994	4	17,998
セグメント資産	176,158	137,853	33,434	347,446	33,960	381,406	△10,972	370,434
その他の項目								
減価償却費 (注) 4	7,151	7,297	791	15,239	1,042	16,282	△124	16,157
のれんの償却額	92	—	—	92	—	92	—	92
減損損失	74	—	—	74	43	117	458	576
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 (注) 5	12,499	11,220	846	24,566	1,173	25,739	△123	25,615

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	262,337	274,487	43,349	580,174	35,012	615,186	—	615,186
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,421	110	797	13,329	14,005	27,334	△27,334	—
計	274,758	274,597	44,147	593,504	49,017	642,521	△27,334	615,186
セグメント利益	13,675	4,143	1,123	18,943	1,056	19,999	△218	19,780
セグメント資産	188,529	152,414	34,616	375,560	33,769	409,330	△10,680	398,650
その他の項目								
減価償却費(注) 4	7,014	7,118	818	14,951	1,110	16,061	△143	15,917
のれんの償却額	89	—	—	89	—	89	—	89
減損損失	400	36	—	437	655	1,093	188	1,282
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 (注) 5	17,369	8,353	898	26,621	1,325	27,947	△373	27,573

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業および不動産賃貸事業等が含まれております。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

売上高

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△26,167	△27,334
合計	△26,167	△27,334

セグメント利益

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	4	△218
合計	4	△218

セグメント資産

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間債権債務消去等	△22,625	△26,045
全社資産※	11,653	15,365
合計	△10,972	△10,680

※全社資産は、主に当社の余資運用資金および遊休資産であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

4. 減価償却費には、長期前払費用の償却額が含まれております。

5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の増加額が含まれております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	2,586.86円	2,890.65円
1株当たり当期純利益金額	179.71円	220.64円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	178,094	198,255
純資産の部の合計額から 控除する金額 (百万円)	2,982	3,042
(うち非支配株主持分) (百万円)	(2,982)	(3,042)
普通株式に係る当連結会計年度 末の純資産額 (百万円)	175,112	195,213
1株当たり純資産額の算定に用いられた 当連結会計年度末の普通株式の数 (株)	67,693,108	67,532,801

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	12,165	14,913
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益金額 (百万円)	12,165	14,913
期中平均株式数 (株)	67,697,550	67,594,981

(重要な後発事象)

該当事項はありません。